

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

3月28日、国土交通省と世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターによる同会合に向けた官民イベント「G7 都市大臣会合に向けた官民ハイレベルラウンドテーブル」に参加しました。

この会合はG7 香川・高松都市大臣会合（7月7日～9日開催）に先立ち、都市における「カーボンニュートラル・レジリエンス」、「インクルーシブ」、「デジタル技術の活用」などをテーマに、G7 実務者会合(SUDO: G7 Senior Urban Development Officials)の各国代表、産業界、専門家などマルチステークホルダー視点で議論し、提言を行うものです。

私からはネットゼロに向けた浦和美園地区をはじめとした本市の取組を紹介しました。今回の会合に参加して、改めて世界の英知を結集し、諸問題へ取り組むことの重要性を強く感じたところです。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多得票と得票率で当選。共栄大学客員教授、指定都市市長会 副会長も務める

2023 U7市長サミット 開催



3月2日(木)、指定都市市長会は、2023Urban7市長サミットを開催しました。Urban7(U7)は、G7各国の都市連合で構成される連合体です。今回は、「平和・民主主義」「SDGsを達成し、地球規模の気候変動に対応するための持続可能な都市開発」「防災・レジリエンス」「マルチレベル・ガバナンス」といった課題への取り組みに対する地方自治体の役割の重要性と、G 7への要請を盛り込んだ「2023 U7市長宣言」を採択しました。



指定都市市長会からは、私を含め6名の市長が参加（ビデオ、オンライン参加含む）し、G7 各国の都市連合等からは、ピーター・クルツ 市長(ドイツ・マンハイム市長、世界市長会議議長)をはじめ、8カ国、10都市の市長が参加（ビデオ、オンライン参加含む）しました。今後開催されるG 7の各会合の議論に宣言文の要請内容が反映されることを期待しています。

